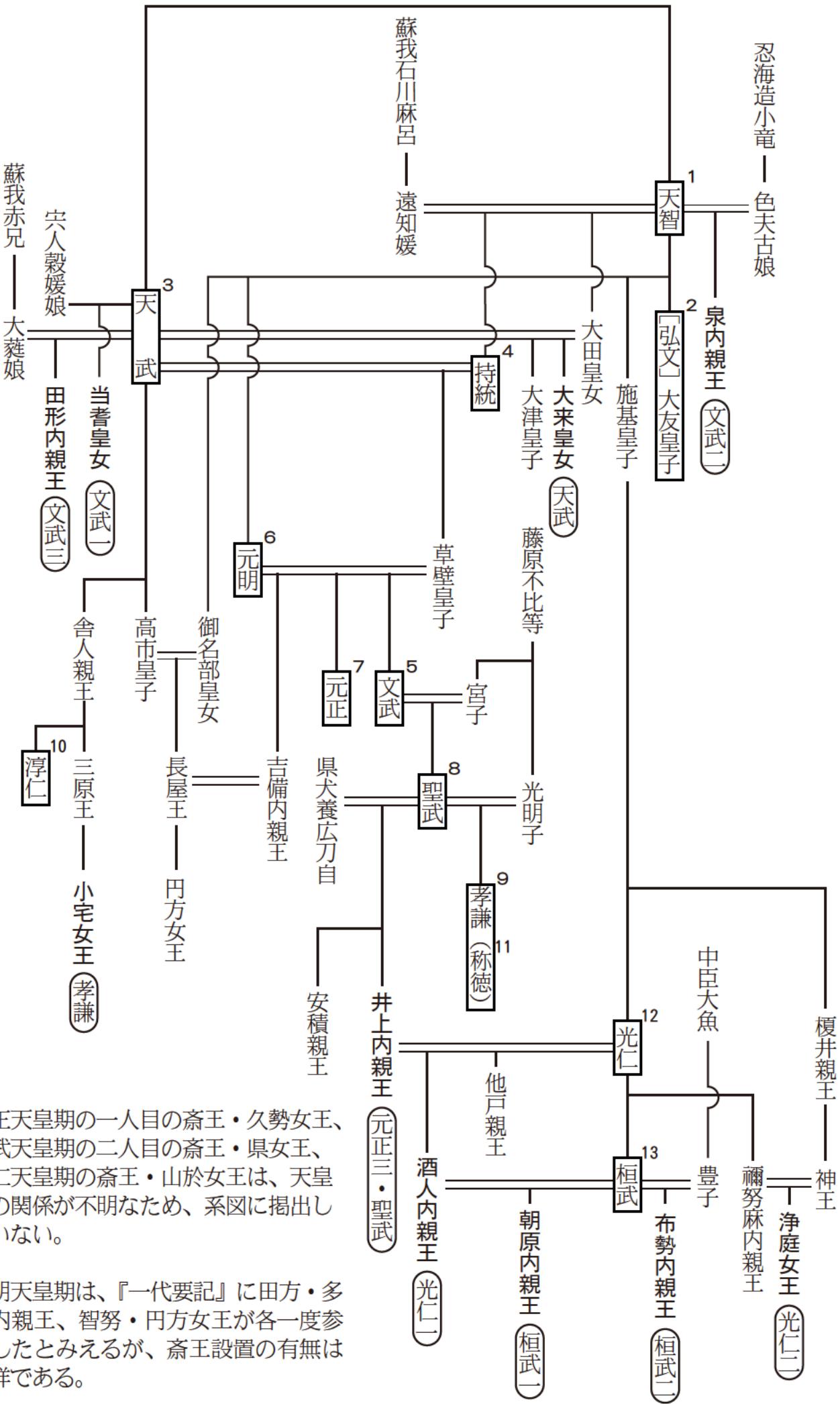


# 斎王関係系図 飛鳥・奈良時代



□は天皇（右上の数字は天皇の即位順）を示している。  
 斎王はゴシック体で表記し、○内の文字より対応する天皇を示している。  
 また、一人の天皇に複数の斎王がいる場合は、漢数字を加え就任順を示した。

元正天皇期の一人目の斎王・久勢女王、聖武天皇期の二人目の斎王・県女王、淳仁天皇期の斎王・山於女王は、天皇との関係が不明なため、系図に掲出していない。

元明天皇期は、『一代要記』に田方・多紀内親王、智努・円方女王が各一度参入したとみえるが、斎王設置の有無は不祥である。